

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハッピーテラス清水教室		年 月 日				
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	利用人数や児童の特性に応じて活動スペースを分けるなど、活動しやすい環境づくりを行っている。	活動内容や児童の状況によってはスペースが限られる場合があるため、活動内容の工夫や環境設定を行いながら安全で活動しやすい環境を整備していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	児童の特性や活動内容に応じて職員配置を調整し、安全面や支援の質を確保できるようにしている。	児童の状況や利用人数によって支援の負担が大きくなる場合もあるため、支援体制や業務分担の見直しを行い、より安定した支援体制を整えていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	児童が活動内容を理解しやすいように、活動スペースや掲示物等を活用し、視覚的にも分かりやすい環境づくりを行っている。	児童の特性に応じて、さらに分かりやすい環境設定や支援方法の工夫を継続していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	清掃や整理整頓を行い、安心して過ごせる生活環境づくりを行っている。	児童の活動内容に応じた環境整備を継続する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	必要に応じて個別スペースを使用できるよう配慮している。	個別対応が必要な児童への環境調整を継続する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	支援の振り返りや話し合いを通じて改善につなげている。	職員全体が参画できる振り返り機会を増やす。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者アンケートを実施し、支援改善に活用している。	結果共有と改善への反映をさらに進める
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	日々の打合せ等で職員の意見を共有している。	定期的な意見交換の機会を増やす。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	外部の情報や事例を参考に支援改善を行っている。	外部評価や第三者視点の活用を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	研修情報の共有などにより資質向上を図っている。	外部研修の活用など研修機会の拡充を図る。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援プログラムを作成し、支援内容の明確化を図っている。	支援内容の見直しを継続する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	アセスメントを実施し、ニーズに基づいた支援計画を作成している。	アセスメント内容の共有をさらに充実させる。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	支援に関わる職員間で計画作成の共有を行っている。	情報共有をより体系的に行う。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援計画を共有し、計画に基づいた支援を行っている。	計画の理解を深めるための共有機会を増やす。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	日々の観察や記録を通じて児童の状況把握を行っている。	評価方法の共有を進める。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	ガイドラインを参考に支援内容を設定している。	支援内容の見直しを継続する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	職員間で活動内容を検討しながらプログラムを立案している。	多様なプログラムの検討を継続する。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	児童の特性や発達段階に応じて、SST・学習支援・運動活動など複数の活動を組み合わせて支援を行っている。また季節行事や工作なども取り入れ、活動の幅を広げるよう工夫している。	活動内容が一定のパターンに偏らないよう、児童のニーズやアンケート結果などを参考にしながら新しい活動内容を取り入れ、活動プログラムの多様化を図っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別活動と集団活動を組み合わせ支援している。	児童の状況に応じた活動調整を継続する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	支援開始前に児童の状況や注意点を共有し、職員間で役割分担を確認するよう努めている。	支援前の打ち合わせをより確実に実施できるよう、時間の確保や共有方法の見直しを行い、支援内容の共有をより充実させていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	支援終了後に振り返りを行い情報共有している。	共有内容を記録として残す取り組みを進める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	支援記録を作成し支援改善につなげている。	記録内容の共有をさらに充実させる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的なモニタリングにより計画の見直しを行っている。	見直し内容の共有を継続する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	複数の活動を組み合わせ支援している。	活動内容の工夫を継続する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	自己選択できる活動を取り入れている。	児童の主体性をさらに伸ばす支援を検討する。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	サービス担当者会議に参加し情報共有している。	関係機関との連携をさらに強化する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	学校や関係機関と連携した支援を行っている。	必要に応じ連携機会を増やす。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	学校との情報共有や連絡調整を行っている。	情報共有体制の維持を図る。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4	新規利用児童については、相談支援事業所や保護者からの情報をもとに、児童の特性やこれまでの支援状況の把握に努めている。また、必要に応じて関係機関との情報共有を行っている。	就学前に利用していた施設との直接的な情報共有の機会には十分とは言えないため、必要に応じて保育所・幼稚園・児童発達支援事業所等との連携を図り、児童の特性理解をより深める。卒業後の進路元との連携や情報提供については実施機会が限られているため、今後は必要に応じて支援内容の引き継ぎや情報共有が行える体制づくりを検討していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	相談支援事業所等と連携し、児童の進路や支援状況について情報共有を行うよう努めている。	児童発達支援センター等との連携機会や研修機会について情報収集を行い、必要に応じて助言や研修を受ける機会を増やすなど、専門的な支援の充実につなげていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	必要に応じて相談支援事業所や関係機関を通じて情報共有を行い、児童の状況に応じた支援につなげるよう努めている。また、支援に関する情報や制度について職員間で共有を行い、支援の質の向上につなげている。	地域の児童発達支援センター等との連携機会や研修機会については現状十分とは言えないため、児童の安全面や支援内容とのバランスを考慮しながら、地域交流の機会について検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	地域との関わりを意識し、地域の情報収集や関係機関との連携を行いながら、地域とのつながりづくりに努めている。	自立支援協議会等への参加については機会が限られているため、地域の会議や情報共有の場への参加を検討し、地域連携の強化につなげていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	地域の支援機関との連携や情報共有を通じて、地域の支援状況の把握に努めている。	自立支援協議会等への参加については機会が限られているため、地域の会議や情報共有の場への参加を検討し、地域連携の強化につなげていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	4	日々の送迎時や面談で保護者と情報共有している。	保護者との共有機会をさらに充実させる
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	保護者からの相談に応じ、子育てや支援方法に関する助言や情報提供を行っている。また、面談等を通じて家庭状況の把握に努めている。	保護者向け研修やペアレントトレーニング等の機会には十分とは言えないため、今後は保護者支援の取り組みについて検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	運営規程や利用内容について説明を行っている。	説明内容の分かりやすさを工夫する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	計画作成時に保護者の意向を確認している。	意向確認の機会を継続する。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	支援計画の説明を行い同意を得ている。	丁寧な説明を継続する。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	相談や助言に対応している。	相談体制の周知を進める。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4	保護者との面談や日々の送迎時共有等を通じて情報共有を行い、保護者との信頼関係づくりに努めている。	保護者同士が交流できる機会は現在十分とは言えないため、保護者会や交流機会の設定について検討し、保護者同士が情報交換できる場づくりを進めていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情対応体制を整備している。	周知の徹底を図る。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	送迎時共有や面談等を通じて活動内容や児童の様子について保護者へ伝えている。	HPやSNS等を活用した情報発信は十分とは言えないため、事業所の活動内容を保護者や地域へ分かりやすく発信する方法について検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報管理に配慮している。	管理体制の確認を継続する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	児童や保護者との意思疎通に配慮している。	情報伝達方法の工夫を継続する。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	地域の関係機関との連携や情報共有を通じて、地域との関わりを意識した事業運営に努めている。	地域住民との交流機会は現在十分とは言えないため、地域の行事や活動への参加など、地域に開かれた事業運営の取り組みを検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	事故防止や感染症対応などのマニュアルを整備し、職員間で共有している。	非常時対応について保護者への周知を進めるとともに、訓練や研修を通じて職員の理解を深めていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	避難訓練などを実施し、災害時対応の確認を行っている。	BCPの内容について職員間の共有を進めるとともに、訓練内容の見直しや定期的な確認を行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	児童の健康情報を事前に確認している。	情報更新を定期的に行う。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギー対応を確認している。	対応内容の共有を徹底する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画に基づき支援を行っている。	安全管理の見直しを継続する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	安全計画を作成し、安全管理の取り組みを行っている。	安全計画の内容について保護者への周知を進め、安全に関する理解を深めてもらう取り組みを行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットを共有している。	再発防止策の検討を継続する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止に関する研修や情報共有を行い、適切な支援を行うよう努めている。	虐待防止研修の機会を継続的に確保し、職員の理解を深める取り組みを行う。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	身体拘束について適切に説明・記録している。	職員への周知と理解を継続する。	